



## 【造船所見学・船の進水式探究】

### 《目的》

船台での進水式等を目の当たりにして、そのスケールの大きさを実感するとともに、建造された船舶がグローバルな社会において大きな役割を果たしていることを理解する。

### 《実施内容》

船台を持つ造船会社の進水式等の探究活動

### 《取組》

- 日 時 平成29年 9月11日(月)
- 場 所 常石造船株式会社 (広島県)
- 対 象 機械造船科2年生 39名
- 内 容 進水式の見学・関係者への質疑

### 《生徒の感想・学んだこと》

- ・進水式は、何度見ても凄いなと思いました。
- ・めったに見られない約8万トンの船の進水式が見られてよかったです。
- ・今回は、進水式を船体の横から見ることによって、進水前にどのような作業をしているのか学ぶことができました。
- ・対岸がないので船を止める必要がなく、今治の造船所の進水方法との違いを学ぶことができました。
- ・進水時に船を走らせる滑車の数が多くて驚きました。



### 《SPH推進アドバイザー岡田さんの助言》

- ・船台による進水式では最大級の船であることから、そのスケールの大きさを目の当たりにして、生徒は感動している様子であった。
- ・進水盤木の取り外しをテキパキと行っている姿や、シャンパンが割られ、進水しながら船台上で花火が順次打ち上げられる豪快な演出に、私自身感動したが、生徒も同じように感じたのではないかな。

### 《成果・今後の課題》

- ・進水に関する知識を深めたり式典の意義を理解したり、生徒にとって、とても意義深い経験となったのではないかと思います。
- ・生徒は、船のスケールを実感し、船を建造する仕事にやりがいを感じている様子であり、会社の方を見つけて自分たちから積極的に質問するなど、少しでも理解を深めることができるよう、主体的に取り組んでいた。
- ・進水式に向かうバスでは、アドバイザーの岡田さんから船の進水に関する話をしていただき、より一層生徒の理解が深まりました。

